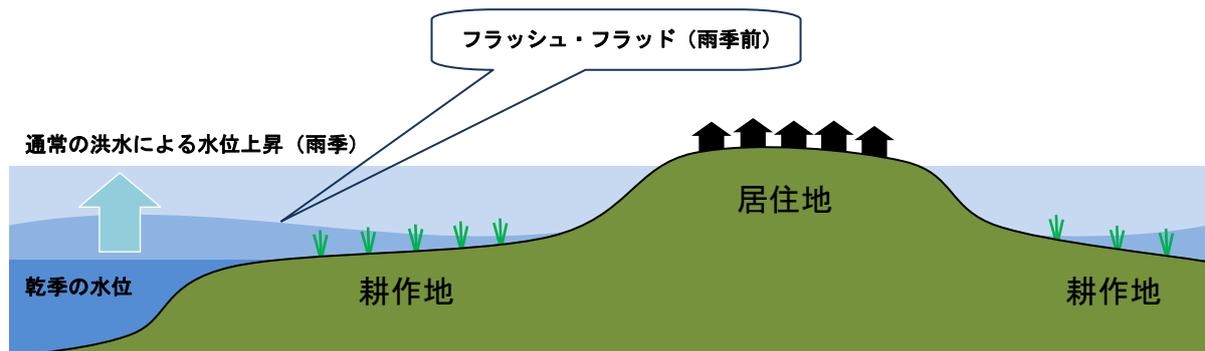


バングラデシュ協力準備調査（円借款）
「メグナ川流域水資源管理改善事業」
補足説明

1 自然条件及び地域住民の生活様式

- (1) 対象地域は、「ハオール」と呼ばれる標高 3～5m 程度の内陸の低地。雨季には広い範囲が湛水するため、地域住民の居住地は点在する微高地に限定されている。
- (2) 対象地域で発生する洪水は、大別して以下の 2 種類。
- 通常の洪水（6～10 月）：雨季の始まりとともに河川の水面が上昇し、ここから溢れた水が氾濫原に広がり湛水を始め。湛水深度は徐々に大きくなり、雨季後期には乾季時の水面から 3～5m 程度上昇する。この時期、河川やため池等がつながり一面が水没する。
 - フラッシュ・フラッド（4～5 月）：雨季前に上流での豪雨により水位が急速に上昇する。これに対応する潜水堤防の高さは、乾季の地上から 2m 程度を想定している。



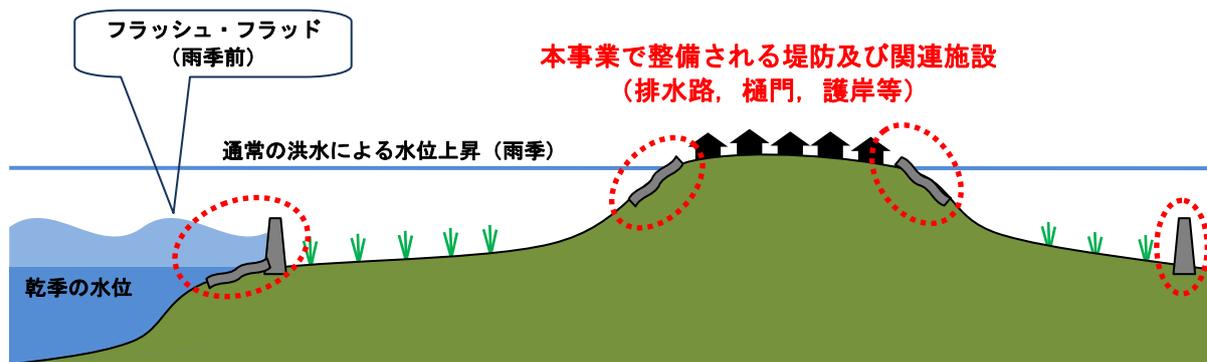
- (3) 地域住民の典型的な生活様式は以下の通り。

11～3月 乾季	4～5月 雨季前	6～10月 雨季	10～11月 雨季後
農業活動が中心。ポロ米稲作が主要な作物。	ポロ米の収穫期。収穫、脱穀、保存等の一連の収穫作業が主要な活動。	農業はできないため、漁業、ボートの漕ぎ手、他の地域への出稼ぎ等により生計を立てる。島のような微高地に家畜も含めて高い人口密度で生活。波浪による侵食被害が深刻。移動手段はボート。	排水が進むとともに、ポロ米の作付けの準備を開始（排水は地域により 12 月頃までかかる）。種子や肥料の購入、家屋等の修繕等を行う。一時的に都市に出稼ぎに出ていた労働者も戻ってくる。
	フラッシュ・フラッド	通常の洪水	

※ ポロ米：バングラデシュの米作は、雨季の初めに収穫されるアウス米，雨季に生育し雨季後に収穫されるアマン米，乾期に生育・収穫するポロ米の 3 種類に大別される。

2 本事業の目的

- (1) 本事業は、通常の洪水ではなく、フラッシュ・フラッドへの対応を行うもの。フラッシュ・フラッドにより主要な収入源であるボロ米の収穫に大きな被害が発生していることから、被害軽減のための堤防および関連施設（排水路、樋門、護岸等）の整備を行う。併せて人々の生活に深刻な被害を与えている微高地への波浪侵食への対応の支援（レンガ積みや石張り等対策工法の導入）や、生計の手段も限られており貧困率が高い地域であることから農漁業を中心として生計の向上に資する活動（農作物多様化や農漁業以外の生計手段の確保等）も行い、地域の人々の生活環境の改善をはかることを目指すもの。
- (2) 調査においては、対象となる堤防および関連施設（リハビリ・新設）の現状確認、事業内容の検討、概略設計、積算、環境社会影響の確認、生計向上支援の具体的な内容の検討（現地の NGO の活動との連携等）、実施体制及び維持管理体制の確認等を実施する予定。



3 「洪水との共生」

- (1) 現地では伝統的に、洪水を所与の自然条件として共存してきた背景があり、洪水により運ばれてくる肥沃な土壌を活用して、主要な生計手段として乾期のボロ米の栽培が行われている。したがって、「洪水との共生」とは、大規模施設による「洪水の制御」(封じ込め)ではなく、その被害を最小限に抑えるべく管理する一方で、洪水の生み出す利益も同時に活かしていくことを意味するものであり、本事業で想定している潜水堤防等の整備によるフラッシュ・フラッドによるボロ米被害の軽減はこの思想に沿うもの。構造物対策等の技術面では日本のリソースで対応可能であるが、バングラデシュの当該地域の現状を十分理解する現地リソースも活用しながら調査を実施する計画。
- (2) ご指摘の視点も踏まえて、ハオール地域の特性に十分配慮した事業となるよう、協力準備調査においても現地の状況に詳しい専門家の助言を得るよう留意したい。

(了)